

第2期玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に係る意見等一覧

No.	ページ	意見・質問内容	回答・対応方針案
1	16	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)を拝見させていただきました。待機児童が現状値0人(2019年)とありますが、この統計に未満児は含まれるのでしょうか。含まれるのであれば、玉城町のHPをみると0歳児・1歳児・2歳児の空き状況がすべて0人になっておりますが、そうだと待機児童数0人というのが疑問に思います。基準日が4月1日になっておりますので、新年度まで受け入れられなかった統計上に出てこない待機児童がいたのではないのでしょうか？また、統計に未満児が含まれていないにしても、「働く女性を応援し、子育てしやすい環境を整備」という点では、現時点で未満児の空き状況が0人になっているのは改善の余地があるのではないのでしょうか。きっとHPをみて問合せをただけで、入所を諦めている働きたい母親がいるように思われます。今待機児童の問題が問われている中、玉城町のように待機児童0人を実現していくのは簡単なことではないし、とても魅力的な玉城町の特徴になると思います。目標(2025年)も待機児童0人とありますが、その中でも定義づけることでさらに良くなっていくのではないのでしょうか。	いただいたご意見は、今後の施策検討の参考とさせていただきます。また、ホームページ上での未満児の空き状況については、誤解を招かれることのないよう、当該項目を削除し、都度問合せいただける形で対応することとします。
2	基本目標1	地域産品の付加価値の向上について、百五銀行本部(ソリューション営業部)を通し、BM、創業支援、農水補助等紹介したいと思っている。	ご意見ありがとうございます。
3	基本目標1	玉城町単独で取り組むのではない、公民連携、広域連携推進を具体的かつしっかりビジョンを持って取り組んでいただきたい。	いただいたご意見は、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
4	基本目標4	副業、その他小さなビジネス(お金のやり取りの少ない持続可能な事業等)についても、多様な働き方を拡大するため、支援を行う必要があると思います。その一助として、既存のカフェまたはその他商業施設、図書館等にワークスペース(有料)を(併)設ける試みを行っている団体が見られますが、玉城町において、当該設備にどの程度の需要があるのか調査又は試験実施を行ってもよいと考えますが、いかがでしょうか。データとしては充分とは言えませんが、昨年、当職の事務所にもリラクゼーションサロン、イラストレーター及び体操教室を検討されている方の相談がございました。玉城町が現在、認定事業者とともにやっている支援はございますが、店舗を持たない形態の業種(例 オンラインサロン)やオンラインマーケットプレイス(スキルシェア)を利用したフリーランスの方への支援としてはやや不十分(ミスマッチ)に思います。前述の相談者の方々も、売れる商品・サービスは固まっており、借入れなしで始められるようです。なお、ワークスペースに関しましては、既存施設を利用しつつ、電源、Wi-Fiといった最低限の投資(通信・光熱費のみ)から始めるのが適切だと思います。あくまで参考ですが、計画のイメージ案を添付いたします。	ご指摘いただいた点につきましては、基本目標1(2)多様な就業機会の拡充で、取り組みの推進を掲げています。事業の実施にあたりご意見を参考させていただきます。
5	基本目標2	ここに書かれている転入超過数の減少ですが、転入数を増やす施策も必要だが、転出者を減らす施策の方が重要だと思えます。この町で生まれ育った人たちが転出しなくても、この町で生活が出来子育てが出来る施策が先決だと思う。例えば、町内への企業誘致による就業機会創出、または近隣市町の事業所への就業の働きかけなど積極的に行うことにより転出者数が減り又、子育て世代の定住が増えると思う。この施策は、Uターン希望者の受け入れにも寄与すると思われる。	いただいたご意見は、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
6	2	PDCAを行っていくと書いているが、最終的にどうなっていたいという目標がない。	目標については、第2章基本目標において、国の考え方も踏まえつつ掲げています。